

### 77歳で大学院の修士修了 成田重忠さん

元高校教諭の成田重忠さん(77)＝愛知県幸田町＝が今月、愛知教育大大学院の修士課程を修了した。若き日に魅了された英国詩人ディラン・トマスを研究するため、2014年に入学。けがによる休学にもめげず、修了証書を手にした。「まさに『やれやれ』という感じだ」。愛読する村上春樹作品のフレーズに、万感を込める。

現役時代は英語教諭として延べ6000人を教えた。退職後は中国で日本語を指導するなどしたが、文学青年だったころの気持ちが忘れられなかった。「もう一度、文学と向き合おう」。

ひと仕事  
衰えぬ文学への情熱

高齢での進学を決意した。

初年の夏、草刈り中に石垣から落ちて骨折。1年間の休学を余儀なくされた。その間も向学心は衰えず、自宅で学術書を読みふけた。修士論文のテーマは「ディラン・トマス初期の作品とモダニズム」。社会に革新をもたらしたモダニ



ズムの源流にフロイト、ソシュール、フッサールの3人を挙げ、トマス作品にどう影響したかを分析した。

「いろいろ勉強して糸口がほどけた実感がある。今後とも自由に研究をしたい」。次はトマスの名を芸名にしたボブ・ディランや村上春樹を結ぶ文学的系譜を、じっくりと考察するつもりだ。(岡村淳司)